修了生の活躍事例

ポリテクカレッジでの学びが、今の仕事との出会いのきっかけになりました

株式会社トモテツセブン
モバイルマルチメディア事業部

川上 尚哉 さん (22)

福山職業能力開発短期大学校
専門課程
電子情報技術科

令和３年度　　修了

小さい頃からロボットやパソコンなどの機械が好きで、プラモデルを組み立てたり、壊れたおもちゃを分解したりしていました。高校三年生のとき進路に迷っていたところ、当時の担任の先生に紹介されたことがきっかけで福山ポリテクカレッジの電子情報技術科に進学しました。入学の決め手は、四年制の大学よりも短い二年という期間で実用的な知識や技能を身につけ、社会に出ることができるという点でした。
電子情報技術科では、様々な実習を通じて電子部品の特性を学んだり、C言語やPythonといった言語を用いてのプログラミングを学びました。最初は遠く感じた技能検定合格も、苦手克服のための実技的な練習や担当指導員のわかりやすい指導のおかげで、無事合格することができました。
ポリテクカレッジに入校し、自分の可能性を見つけられたことで今の仕事に出会うことができました。

企業との共同研究でねじ切り加工判定システムを製作！

昨年の先輩の資料を読み、数百行あるプログラムやメモなどを確認しながら、試行錯誤を繰り返すのは簡単なことではなかったが、自分の持っている知識をより深めることができたり、新たな知識を得ることができました。努力の過程は自分の力になったと思います。

ねじ切り加工判定システム

将来、生徒が電子情報分野に興味を持てるような講師になりたいと考えています。

将来は、現在行っているプログラミング教室のコーチとして、取り組む教材の更にその先に興味を持った生徒に、プログラミングや電子機器の分野へに関心がより深まるような知識や学力をつけさせてあげたいと考えています。
ポリテクカレッジで学んだことが、現在の仕事に役立っています。ありがとうございました。

就職先企業での活躍

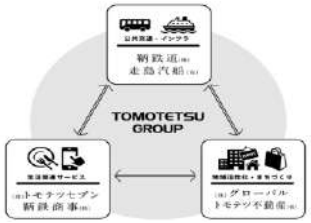
川上 尚哉さんの業務

モバイルマルチメディア事業部に所属しており、スマホ教室の講師として、地域の方々が安心・安全・便利にスマホが使いこなせるようにサポートしています。
また2023年より新規事業としてスタートしたプログラミング教室のコーチとして、年長・小学生・中学生を対象とした授業・指導を行っています。

授業を行う川上さん▶

上司からの声　教室班　主任　三宅 厚志様

ポリテクカレッジで身に付けた知識と持ち前のコミュニケーション能力の高さを活かし,当社の新規事業であるプログラミング教室のコーチとして、保護者の方や生徒から厚い信頼を得ています。生徒たちに慕われる先生として、今後の更なる成長と活躍に期待しています。

株式会社トモテツセブン（広島県福山市）　**現在福山ポリテクカレッジの修了生1名が活躍**

トモテツグループはバス事業を中核に、情報通信、サービスエリア、フードサービス、不動産、観光など多種多様の事業を展開しています。グループの３本柱の一つであるトモテツセブン社の中でモバイルマルチメディア事業部ではNTTドコモの一次代理店としてドコモショップを運営。福山市内に４店舗、庄原市に１店舗、岡山県井原市に１店舗の計６店舗を展開しています。さらにドコモショップ内において年長・小学生・中学生のための本格プログラミング教育プログラミング教室を実施中。